

人権ネットニュース

第34号
2007年5月 日

編集発行

人権資料・展示全国ネットワーク事務局
柳原銀行記念資料館
NPO 法人ダッシュ(和泉市立人権文化センター)
水俣病センター 相思社
徳島県立博物館

内実を求めて

— 第12回人権資料・展示全国ネットワーク総会に向けての問題提起 —

人権資料・展示全国ネットワーク代表 山内 政夫
柳原銀行記念資料館事務局長

人権資料・展示全国ネットワーク（以下「人権ネット」とよぶ）は、このたび12回目の総会を迎えることになりました。

人権ネットは1996年7月21日、大阪人権博物館において「各機関の相互交流と親睦をはかり、人権確立のための研究、教育、啓発に寄与すること」を目的として設立されました。初代代表には平野一郎さん（大阪人権博物館）を迎え、以後、向井正さん（大阪人権博物館）、守安敏司さん（水平社博物館）、山内が、代表を歴任してきました。また、総会は、第1回（設立）を大阪府（大阪人権博物館）で開催し、第2回以後は各地の博物館・資料館、人権センターのお世話になりながら開催してきました。開催地（カッコ内は世話役となった加盟機関・機関・団体）を列举すると、広島県（福山市人権平和資料館）、奈良県（水平社博物館）、三重県（三重県人権センター）、京都府（丹波マンガン記念館）、福岡県（福岡県人権啓発情報センター）、徳島県（徳島県立博物館）、鳥取県（鳥取県部落解放研究所）、滋賀県（甲賀郡人権センター）、熊本県（水俣病センター相思社・水俣病歴史考証館）、北海道（平取町立二風谷アイヌ文化博物館）となります。各開催地のみなさまには、たいへんお世話になりました。改めてこの場をお借りし、お礼申し上げます。

総会のたびに、開催地へと日本全国の人権に関する展示や研究を進めている機関・団体の関係者が集い、交流し、それぞれの活動の内実を高めあうことができたことは、たいへん大きな成果だったと考えています。

私事にはなりますが、それぞれの現地機関を訪ねて生の資料を拝見し、現地の差別や人権問題の現状を、己の目や耳で確認できたことはよい勉強になりました。今後の研鑽に活かしていきたいと考えています。

さらに、加盟機関・団体間の情報共有と交流のために発行してきた『人権ネットニュース』もすでに33号を数え、総会の模様や新加盟機関・機関・団体の紹介をはじめ、各地の人権に関する機関・団体の取り組みを紹介してきました。あわせて、ホームページの開設（2000年度）、リーフレットの発行（2001年度）を重ねてきており、人権ネットの存在は定着してきたといえます。その結果、加盟機関・団体も発足当初は16機関・団体だったものが、2007年1月の段階で34機関・団体と増えています。さらに今後も、加盟を希望する機関・団体は絶えることがないと思われます。

この間の取り組みとして特筆すべきことに、個人により設立・運営されている丹波マンガン記念館の支援活動があります。『人権ネットニュース』17号において、閉鎖の危機にさらされている丹波マンガン記念館の緊急支援要請を行いました。その結果、一定の成果があがり、厳しい状態ではあるものの、同館の運営は続けられています。これを契機に、NPO法人丹波マンガン記念館が設立され、新たな形での支援が行われるようになりました。このような、私設の博物館を支援できたことは、人権ネットの取り組みとして非常に意義深いものであったと思います。

以上のような数々の成果があった反面、多くの課題を残してきました。そこで考えていただきたいのは、人権ネットの目的と現状についてです。1996年11月に発行された『人権ネットニュース』1号には、次のように提起されています。



人権ネットのリーフレット

人権ネットニュース 第1号 1996年11月1日発行	編集発行：人権資料・展示全国ネットワーク事務局 『(仮称)水戸社歴史館建設推進委員会 福山市人権平和資料館 大阪人権博物館』
<p>『人権ネット』の発足 1996年7月20日、大阪人権博物館で「人権資料・展示全国ネットワーク」(以下、「人権ネット」)の発足会が開かれました。発足会には、7府県から人権に関する資料を収集・保存・調査研究または展示公開をおこなう博物館、資料館、記念館、人権センター、研究所など14団体が参加しました。</p> <p>この人権ネットは、「各機関の相互交流と連携をはかり、人権確立のための研究、教育、啓発に専らする」ことを目的に、「(仮称)水戸社歴史館建設推進委員会(奈良)、福山市人権平和資料館(広島)、大阪人権博物館(大阪)」の3者の協議のもと、呼びかけ文を作成し、人権に関する資料を収集・展示している各機関・団体ならびに呼びかけ、実現したものです。</p> <p>発足会では、これまでの経過説明のあと「人権ネット」の運営業務を承認するとともに、代表に大阪人権博物館館長・平野一昭氏を選びました。そのあと、当日出席した各団体・機関よりそれぞれの事業内容や課題となつていくことなどを報告しあい、情報交換をおこないました。今後のとりくみとして、年1回の交流会の開催、年2回程度のニュースの発行、そして未加入の機関に参加を呼びかけていくことなどが確認されました。</p> <p>『人権ネット』に求められているもの 部活問題をはじめ人権問題の資料を系統的、組織的に調査し収集するようになってきたのはこの10年ほどであり、決して十分な体制ができていたわけではありません。全国各地の多様な資料の調査・収集が有機的に連携していくことが必要です。</p> <p>また、博物館などが人権問題の資料を展示するには、いくつかの困難な課題があり、そのため人権問題をテーマとして展示している歴史系博物館はきわめて少数です。具体的な展示の実践例をより多く集め、内容充実に向けて互いに情報交換し、よりよい展示表現方法などについて研究していきたいと思つています。青丘スルヤームの卒業発表は「各機関・団体が所蔵している資料をリスト化し、情報の共有をはかることが出来、共同資料展示の実現にもとりくんでみたらどうか」と述べられましたが、「人権ネット」がめざすべき方向として大変重要です。</p> <p>『人権ネット』はまず資料と交流から始まり、ゆるやかにスタートしましたが、人権確立のための研究、教育、啓発に専らするという目的に添づくため、ひとつひとつの積み重ねを大事にしながら、そのネットワークを強め、広げていきましょう。</p>	
<p>加入団体・機関の紹介 ①設立団体 ②設立年月日 ③所在地 ④電話 ⑤FAX ⑥主な活動 ⑦職員紹介</p> <p>三重県人権センター ①三重県 ②1996年11月 ③電話54-61 三重県津市一丁目大古宮字蓮田609番地の1 ④090-92-5241 ⑤090-92-5511 ⑥あらゆる差別を撲滅し、すべての国民の人権が保障される地域社会の実現を図るため、同和問題をはじめとした人権問題に関する啓発、研修、相談や研究を行います。 ⑦9名(予定)</p>	

人権ネットニュース 第1号

部活問題をはじめ人権問題の資料を系統的、組織的に調査し収集するようになってきたのはこの10年ほどであり、決して十分な体制ができていたわけではありません。全国各地での多様な資料の調査・収集が有機的に連携していくことが必要です。

また、博物館などが人権問題の資料を展示するには、いくつかの困難な課題があり、そのために人権問題をテーマとして展示している歴史系博物館はきわめて少数です。具体的な展示の実践例をより多く集め、内容充実に向けて互いに情報交換し、よりよい展示表現方法などについて研究していきたいと思つています。青丘文化ホールの辛基秀氏は「各機関・機関・団体が所蔵している資料をリスト化し、情報の共有化をはかることが大事。また、共同資料展示の実現にもとりくんでみたらどうか」と述べられましたが、「人権ネット」のめ

ざすべき方向として大変重要です。

「人権ネット」はまず親睦と交流から始まり、ゆるやかにスタートしましたが、人権確立のための研究、教育、啓発に寄与するという目的に近づくため、ひとつひとつの積み重ねを大事にしながら、そのネットワークを強め、広げていきましょう。

こうした設立時の考え方に沿った取り組みができてきたでしょうか。確かにネットワークは広がりました。そして、加盟機関・団体は、展示がメイン、研究がメイン、啓発がメインなどと性格が異なりつつ共存しています。各機関・団体の特性に応じた部会をつくろうという議論が当初からありましたが、「交流が目的だから現状でよい」との意見もあり、ゆるやかな運営を図ってきましたが、議論が深まらないまま積み残してきました。その結果、目的意識の共有がより困難になってきたと感じています。

また、事務局を積極的に担う機関・団体が少なく、一部の加盟機関・団体の負担によって運営する状態が長く続いているため、ネットワークの実質化が阻まれています（これまでに事務局を担ってきた機関・団体：大阪人権博物館、水平社博物館、福山市人権平和資料館、福岡県人権啓発情報センター、柳原銀行記念資料館、たかみや人権会館、NPO法人ダッシュ〔和泉市立人権文化センター〕、徳島県立博物館、水俣病センター相思社・水俣病歴史考証館）。そのため、人権ネットが加盟機関・団体総体のものとならず、近年では事務局会議のたびに代表や事務局の交代が課題にあがるようになり、第9回総会において、当時の代表だった守安敏司水平社博物館長が「人権ネットの充実した発展には、各機関・団体の主体的な活動が欠かせない」と訴え、2年毎の代表及び事務局の交代を確認したところでした。

しかし、第12回総会の準備にあたり、いくつかの機関・団体に代表就任と事務局の分担を打診したところ、残念ながら引き受け手がなく、困惑と今後の運営に不安をもつに至りました。地理的・組織的にやむを得ない場合は別として、会費は払うものの、総会への出席や事務局の分担ができないという機関・団体があるとすれば、人権ネットの趣旨に照らし理解に苦しみます。このままの状態では、人権ネットが活動を続けていくのはきわめて困難ではないかと考えざるを得ません。

こうした思いから、代表を含む事務局会議において、ありのままの状況を話し、忌憚のない意見交換をし、第12回総会において正式に「人権ネットの解散」を提起することにしました。無論、人権ネットのあり方は、代表と事務局という執行部だけが決定するものではありません。この提起を踏まえ、人権ネット加盟機関・団体がそれぞれの課題として、より充実した、内実をとまなう議論に参加していただけるようお願いします。



人権ネットの未来について議論する（第10回総会）

第12回人権ネット総会のご案内

会期 2007年7月17日（火）～18日（水）

会場 舳松人権歴史館（堺市立人権ふれあいセンター内）

■日程

7月17日（火）

13：30 受付

14：00～17：00 総会

18：00～ 懇親会（シティホテル青雲荘 堺市堺区出島海岸通り2丁4-14 072-241-4545）

7月18日（水）

9：30～11：00 フィールドワーク・展示見学

11：00～12：00 総括会議

■会場までの交通（添付地図を参照してください）

・南海バス

南海電鉄堺東駅（9番乗場）から「旭ヶ丘北町」下車 西へ約600m

南海電鉄堺駅（2番乗場）又は堺東駅（2番・4番乗場）から

「大仙西町団地前」下車 南へ約200m 「御陵通3丁」下車 南西へ約400m

堺駅（7番乗場）または堺東駅（13番乗場）から「協和町」下車 北西へ約500m

・阪堺電車 「御陵前」下車 南東へ約800m

■参加費

（1）総会 1,000円

（2）懇親会 5,000円

（3）宿泊費（朝食込み） 6,000円程度 ※ツイン洋室か和室（3～4名）の相部屋となります

■その他

（1）堺市立人権ふれあいセンターの駐車場は狭いので、総会参加者は利用を御遠慮ください。近辺にある民営駐車場を利用してください。第1日終了後と第2日朝は、ホテルのバスで会場間を移動します。

（2）宿泊については、青雲荘東館2～3階にまとめて確保する予定ですが、同施設にはエレベーターがありません。階段での移動が困難な方には、別途部屋を用意しますので、あらかじめご連絡いたします。

■申し込み先（参加の有無にかかわらず、同封の用紙によりFAXでお願いします）

舳松人権歴史館 増田志寿子

〒590-0822 堺市堺区協和町2丁61番地 堺市立人権ふれあいセンター

TEL (072) 245-2536 FAX (072) 245-2535